

「キャリア段位制度」について

平成22年9月8日

内閣府参与 大久保幸夫

「キャリア段位」制度

VI. 雇用・人材分野における国家戦略プロジェクト

19. 「キャリア段位」制度とパーソナル・サポート制度の導入

時代の要請に合った人材を育成・確保するため、実践的な職業能力育成・評価を推進する「実践キャリア・アップ制度」では、介護、保育、農林水産、環境・エネルギー、観光など新たな成長分野を中心に、英国の職業能力評価制度（NVQ：National Vocational Qualification）を参考とし、ジョブ・カード制度などの既存のツールを活用した『キャリア段位』を導入・普及する（日本版NVQの創設）。あわせて、育成プログラムでは、企業内OJTを重視するほか、若者や母子家庭の母親など、まとまった時間が取れない人やリカレント教育向けの「学習ユニット積上げ方式」の活用や、実践キャリア・アップ制度と専門学校・大学等との連携による学習しやすい効果的なプログラムの構築を図る。

同時に、失業をリスクに終わらせず、新たなチャンスに変えるための「セーフティ・ネットワーク」の実現を目指し、長期失業などで生活上の困難に直面している人々を個別的・継続的・制度横断的に支える「パーソナル・サポート」を導入するほか、就労・自立を支える「居住セーフティネット」を整備する。

「専門タスク・フォース」

1. 推進体制の整備

- ◆ 「実践キャリア・アップ戦略推進チーム」(主査:荒井大臣、事務局長:平岡副大臣)の下に、「専門タスク・フォース」を設置。
- ◆ 主査: 大久保幸夫 リクルートワークス研究所 所長 (内閣府参与:7月8日発令)
- ◆ 第1回は、8月31日(火)8:30~10:00開催。年末まで、概ね、月1回の頻度で開催予定。

2. メンバー(案)

(主査)	大久保 幸夫	内閣府参与、リクルートワークス研究所所長
(有識者)	伊藤 健二 今野 浩一郎 樋口 美雄 堀 達也 山田 久	慶應義塾大学大学院特別研究准教授 学習院大学経済学部教授 慶應義塾大学商学部教授 前北海道知事、北海道マーケティング総研(株)取締役会長 日本総合研究所調査部主席研究員
(労使関係)	青山 伸悦 川本 裕康 團野 久茂	日本商工会議所理事・産業政策第一部長 (社)日本経済団体連合会常務理事 日本労働組合総連合会副事務局長
(教育関係)	大越 孝 亀山 幸吉 山本 匡	桜美林大学執行役員・副学長・教授 淑徳短期大学社会福祉学科教授 学校法人小山学園理事長
(人材関係団体他)	小川 健司 佐藤 建次郎 藤村 伸治 大原 博 山口 満	(独)情報処理推進機構参事 (社)日本人材紹介事業協会専務理事 (独)雇用・能力開発機構能力評価課長 (社)日本人材派遣協会副理事長 中央職業能力開発協会能力開発支援部長

新成長分野での雇用創出を推進 「人材のあふれる国」「出番と居場所のある国」

キャリア段位	新成長戦略(6月18日)
<p>第1次プラン対象分野(案) (3~4分野)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●介護・ライフケア ●環境・エネルギー(含林業) ●食・観光 <p>今後5年間でその他の成長分野にも領域を広げる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフ・イノベーションによる健康大国戦略 (新規雇用284万人) ・グリーン・イノベーションによる環境・エネルギー大国戦略 (新規雇用140万人) ・観光立国・地域活性化戦略 (新規雇用 56万人) ・農林水産分野の成長産業化 ～「食」に関する将来ビジョンの策定～

今後の進め方 —「構想骨子」(5月25日)及び「新成長戦略」(6月18日)を受けて—

① 導入分野の決定 (9月まで)

- ◆ 23年度までに導入する「第一次プラン対象分野」(3~4分野)を決定。
(分野案) 「介護・ライフケア」、「環境・エネルギー(含、林業)」、「食・観光」など
→ 成長分野であって、一企業だけでなく多くの企業・産業に通用する専門家を育成するとの観点から選定
- ◆ 速やかに分野毎の「作業部会」を設置。分野毎の「職業能力評価基準」及び「職業能力育成(キャリア・アップ)のためのカリキュラム」の策定に当たっての「論点整理」(年内目途)

② 分野横断的な制度設計 (年内目途)

- ◆ 「キャリア段位制度」(職業能力評価制度)等の「基本方針」をとりまとめ。
- ◆ 具体的検討事項
 - ・ 段位の数やレベルの設定
 - ・ 具体的な評価方法
 - ・ 教育システムとの具体的連携方法
 - ・ 既存制度(職業能力評価基準制度、資格・検定制度、ジョブカード制度等)との関係整理 (積極的活用を含む)
 - ・ 継続的な質保証策
 - ・ 職業能力育成プログラムの在り方(モジュール化された「学習ユニット積上げ」方式、「eラーニング」等)
 - ・ 周知・広報体制 など

「キャリア段位」制度の全体フレーム(案)

キャリア段位制度

- 手に職をつけて働く「スペシャリスト」の労働市場を拡大



- 職業ごとに見習いクラス～達人クラスまでの「知識」と「技術」を標準化
(わかる) (できる)
- 認定評価者による段位認定
(職業能力の「見える」化)



既存の評価制度・資格の活用・連携

技能検定、職業能力評価基準、ITスキルスタンダード、ビジネスキャリア制度等

- 段位に沿った能力開発プログラムの開発
大学・短大、専門学校、公共職業訓練機関等
- 企業内OJTへの展開



学習ユニット積上げ方式やeラーニング等も検討
(いつでも、どこでも、誰でも、できるところから)

- ジョブカードに記載
- 求人票への表記・活用促進
ハローワーク、有料職業紹介、文書募集、派遣等
(「雇用される力」の向上)



段位と処遇の連動

【参考】緊急雇用対策本部「実践キャリア・アップ戦略推進チーム」（平成22年5月25日設置）

1. 趣 旨

新たな成長分野をはじめとして実践的な職業能力育成（キャリア・アップ）が急務となっている一方で、非正規労働者など能力育成の機会に恵まれない方々の増大や、企業の人材育成投資の低下が指摘されている。

こうした状況を踏まえ、4月26日雇用戦略対話における鳩山内閣総理大臣の指示に基づき、『実践キャリア・アップ戦略推進チーム』を設置し、職業能力評価と教育・能力開発を結び付け一層の体系化を図った上で、一企業内にとどまらず社会全体で実践的なキャリア・アップを図る戦略プロジェクトを推進する。

2. メンバー

主 査 : 荒井国家戦略担当大臣

副 主 査 : 細川厚生労働副大臣、鈴木文部科学副大臣、増子経済産業副大臣、

事務局長 : 平岡内閣府副大臣

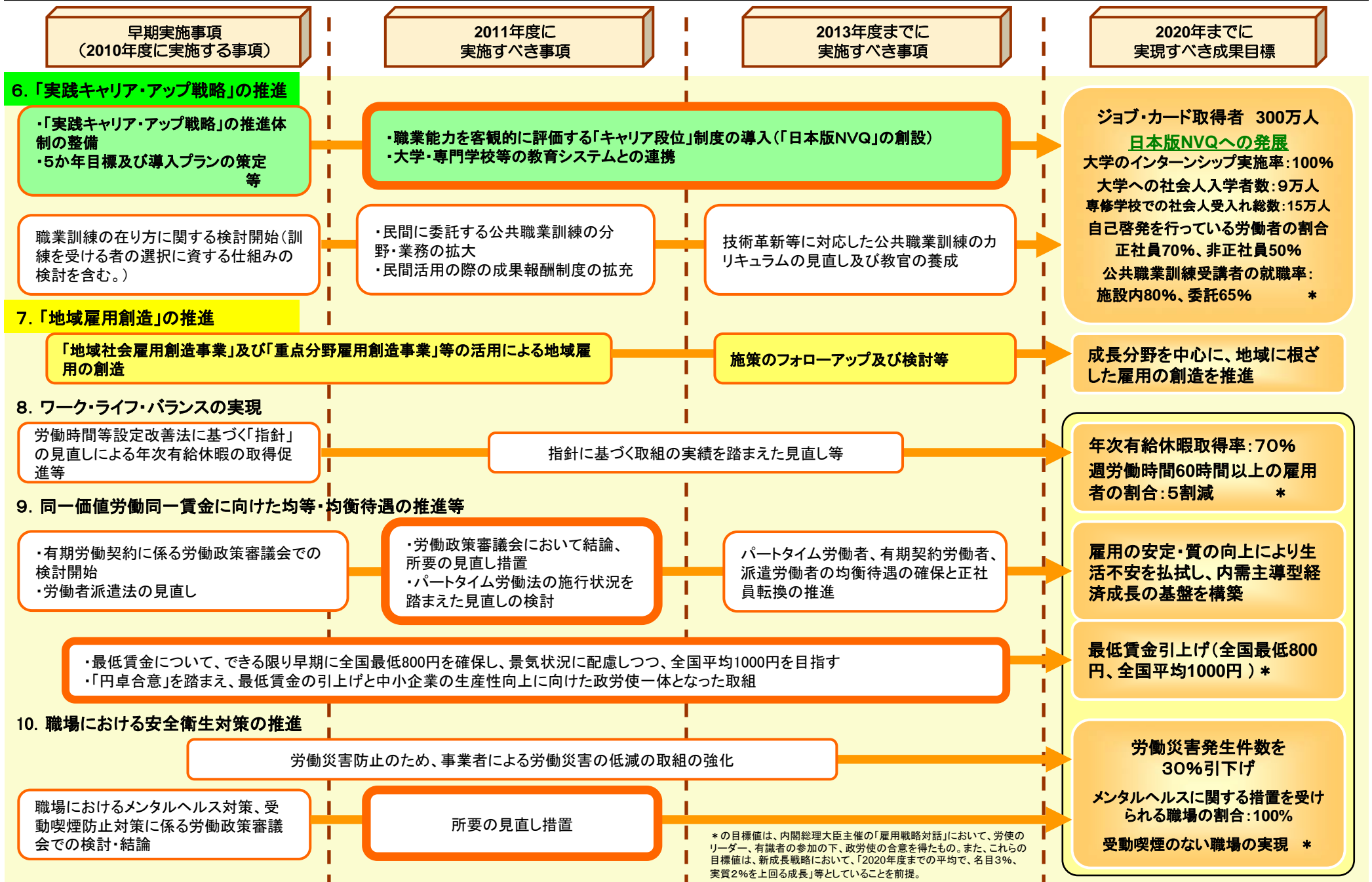
事務局次長 : 内閣府政策統括官（経済財政運営担当）
厚生労働省職業能力開発局長
文部科学省生涯学習政策局長
経済産業省経済産業政策局審議官

事務局 : 内閣府

※ 必要に応じ、関係副大臣等及び関係省庁事務方を追加

- ◆ 第1回会合（5月25日）において、「『実践キャリア・アップ戦略』構想一骨子一」をとりまとめ、これを新成長戦略に反映。

【参考】 VI 雇用・人材戦略 ～「出番」と「居場所」のある国・日本～ ②



*の目標値は、内閣総理大臣主催の「雇用戦略対話」において、労使のリーダー、有識者の参加の下、政労使の合意を得たもの。また、これらの目標値は、新成長戦略において、「2020年度までの平均で、名目3%、実質2%を上回る成長」等としていることを前提。

【参考】現在の「職業能力評価基準」について

（職業能力評価基準とは）

- ・業種別、職種・職務別に必要とされる能力を、担当者から組織・部門の責任者に必要とされる能力水準まで4つのレベルを設定し整理・体系化。
- ・仕事をこなすために必要な「知識」や「技術・技能」に加えて、どのように行動すべきかといった「職務遂行能力」を記述。
- ・職務を確実に遂行できるか否かの判断基準となるよう、典型的なビジネスシーンにおける行動例を記述。
- ・業界団体との連携のもと、企業調査の実施による職務分析に基づき策定。
- ・平成20年度からは、「職業能力形成プログラム」(ジョブ・カード)で使用する「モデル評価シート」に成果を活用。

（実績）

- 業種横断的な経理・人事等の事務系職種の職業能力評価基準を策定。
- 業種別のものとして電気機械器具製造業、ホテル業、自動車製造業等42業種

業種ごとの専門的な職種

鍛造業 19年10月 完成	卸売業 19年10月 完成	自動販売機 製造・管理 運営業 20年2月 完成	DIY業 20年2月 完成	クレジット カード業 20年2月 完成	産業廃棄物 処理業 20年3月 完成	金属プレス 加工業 20年3月 完成	コンビニエンス ストア業 20年3月 完成	電気通信 工事業 20年8月 完成	専門店業 20年8月 完成	イベント産業 20年12月 完成	石油精製業 20年12月 完成	ビルメンテ ナンス業 21年2月 完成	マテリアルハン ドリング業 21年7月 完成
自動車製造 業 17年9月 完成	広告業 17年9月 完成	光学機器 製造業 17年9月 完成	エンジニア リング業 17年12月 完成	左官工事業 17年12月 完成	造園工事業 17年12月 完成	フィットネス 産業 18年2月 完成	パン製造業 18年2月 完成	総合工事業 18年4月 完成	クリーニング業 19年3月 完成	在宅介護業 19年3月 完成	ホウリング場業 19年3月 完成	写真館業 19年3月 完成	軽金属製品 製造業 19年3月 完成
電気機械器具 製造業 16年6月 完成	ホテル業 16年9月 完成	印刷業 16年9月 完成	プラスチック 製品製造業 16年9月 完成	型枠工事業 16年10月 完成	鉄筋工事業 16年10月 完成	フルード パワー業 16年10月 完成	スーパー マーケット業 16年12月 完成	ファインセラミックス 製品製造業 17年3月 完成	アパレル業 17年3月 完成	防水工事業 17年5月 完成	ロジスティク ス分野 17年5月 完成	市場調査業 17年7月 完成	外食産業 17年7月 完成

業種横断的な事務系職種(20年6月改訂)

経営戦略	人事・人材開 発・労務管理	企業法務・ 総務・広報	経理・財務・ 管理	経営情報 システム	営業・マーケ ティング・広告	生産管理	ロジスティクス	国際事業
------	------------------	----------------	--------------	--------------	-------------------	------	---------	------

【参考】イギリスのNVQ制度(National Vocational Qualification)について

制度の概要

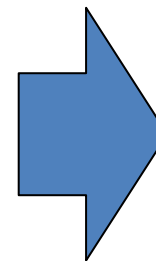
- 職業訓練とその評価・公証がワンパッケージとなった制度で1986年創設。
- 試験方式ではなく、職業訓練のプロセス・成果の評価により資格付与を決定。
- NVQは、約700タイトル(職種)に及び、それぞれレベル1から5までの5レベルを設定。
- エンジニアリング、ヘルスケア、建設、製造現場等を中心に年間延べ4~50万人が取得。制度発足以来、2007年6月末までに、約625万人がNVQ を取得。

NVQ授与の仕組み

- ① 業界団体が職種ごとの基本的な職務基準を設定し、QCDA(特殊法人)が認可。
- ② その基準に基づき、民間授与機関(AB)が、評価方法を定め、具体的なNVQを設定。
- ③ 訓練機関(企業、訓練施設等)による訓練の実施。
- ④ ABから認定を受けた評価者が定期的に評価を行うとともに、信頼性を担保するため、ABは訓練機関に対する外部監査を実施。
- ⑤ 訓練終了後、評価に基づき、ABがNVQを授与。

制度導入の目的及び特徴

- 評価制度の全体的な枠組みの明確性
- 産業界の主体的・積極的な取組
- 職業訓練との結びつきの強さ
- 実際の訓練・仕事ぶりの成果による評価



市場ニーズに対応した質の高い
実践的訓練の提供を目指す

【参考】イギリス(イングランド)における職業資格と学位等の資格枠組み

- イギリスにおいては、職業資格として、1986年にNVQ(全国職業資格)、1992年にGNVQ(一般全国職業資格)が創設され、これらの職業資格と普通教育資格が統合された資格枠組みが整備されてきた。
 - 2004年からは、これらの資格を9段階に分類した「全国資格枠組み(National Qualification Framework)」の導入が進められている。これにより、アカデミックな学力を評価する教育資格と実際の職場での職務遂行能力を評価する職業資格の価値を相対的に位置づけ、レベルの関連づけが図られている。
- ・ NQFのねらいは、
- ①教育や訓練への参加を動機付け、達成度の向上を促進し、国際競争力を高める。
 - ②明確な進歩の道筋を人々に理解させることで生涯教育を促進。
 - ③すべての学習範囲をカバーしつつ、資格の重複をなくす。
 - ④適切かつ正確な国家資格の付与により、国民の信頼を高める。

旧全国資格枠組み	全国資格枠組み(NQF)		高等教育資格枠組み(FHEQ)	欧州高等教育圏のための資格枠組み	
レベル5	レベル8	特定領域の第一人者、トップの実務家 (BTEC Advanced Professional Diploma, Certificate, Award / City & Guild Fellowship)	D/8	博士	第三学修サイクル
	レベル7	上級専門家、上級管理者 (BTEC Advanced Professional Diploma, Certificate, Award / City & Guild Membership / NVQ)	M/7	修士	第二学修サイクル
レベル4	レベル6	知的専門職、専門管理者 (BTEC Advanced Professional Diploma, Certificate, Award / City & Guild Graduateship)	H/6	第1学位	第一学修サイクル
	レベル5	高等技術者、高等管理者 (BTEC Professional Diploma, Certificate, Award / NVQ)	I/5	ディプロマ (foundation degrees 等)	(短期学修サイクル)
	レベル4	技術・専門職、従業員管理・指導 (BTEC Professional Diploma, Certificate, Award / City & Guilds Licentiate / NVQ / Key Skills)	C/4	サーティフィケート (HNC)	
レベル3	レベル3	後期中等教育段階 (GCE・Aレベル / NVQ/BTEC Diploma/Key Skills)			ディプロマ 上級
レベル2	レベル2	義務教育修了段階 (GCSE(A*~C評価) / NVQ / Key Skills)			中級
レベル1	レベル1	GCSE(D~G評価) / NVQ / Key Skills			基礎
入門レベル	入門レベル	Entry Level Certificate(1~3段階)			

※ 平成22年2月23日付け文部科学省キャリア教育・職業教育特別部会(第20回)配付資料及び厚生労働省「2004~2005年海外情勢報告」を参考に、内閣府にて作成